

令和2年亀岡市議会定例会 12月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>山本由美子 12月8日(火) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 居住支援の強化について</p> <p>2 3歳児健康診査における視力検査について</p> <p>3 待機児童解消について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、家賃の支払いに悩む人が急増しており、住まいと暮らしの安定を確保する居住支援の強化は喫緊の課題である。</p> <p>(1) 住居確保給付金の申請並びに支給決定件数は。また、前年と比べてどの程度増えているのか。</p> <p>(2) 給付金の利用者の状況をどのように把握しているのか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症への対応として、市営・市内府営住宅の提供状況は。</p> <p>(4) 支給期間終了後に引き続き支援を必要とする方への支援体制は。</p> <p>(5) 新たな住宅セーフティネット制度の趣旨に沿った住宅確保要配慮者の居住の安定確保に向けた取組の進捗状況は。(本年2月に実施された「高齢者などの住み替え相談会」の開催状況も踏まえて)</p> <p>子どもの目の機能は生まれてから発達を続け、6歳までにほぼ完成すると言われている。3歳児健康診査において強い屈折異常や斜視が見逃された場合に治療が遅れ、十分な視力が得られないとの指摘もあり、早期発見・早期治療が重要となる。</p> <p>(1) 本市における、3歳児健康診査での視力検査方法の現状と課題は。</p> <p>(2) 検査が実施できなかった受診児への対応は。</p> <p>(3) 眼科医が行う精密検査の受診状況は。</p> <p>(4) 保護者への視力検査の重要性の周知、啓発は。</p> <p>(5) 3歳児健康診査の視力検査において、スポットビジョンスクリーナーを導入する考えは。</p> <p>安心して子育てと仕事を両立できる環境整備として、待機児童解消に向けた一層の取組が必要と考える。</p> <p>(1) 待機児童数(入所待ち児童)の推移は。また、直近月の待機児童数は。</p> <p>(2) 定員割れや待機児童の地域の偏りなど現状と認識は。</p> <p>(3) 待機児童解消に向けた、今年度の取組と実績は。</p> <p>(4) 保育現場のICT活用について、本市の現状は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 行政のデジタル化について	<p>(5) 待機児童解消に向けた今後の対応策は（潜在保育士の再就職支援、人材バンク、求人サイトとの連携など）。</p> <p>(6) 保育ニーズに応えるため、小規模保育事業や企業主導型保育事業の実施について考えは。</p> <p>政府は、本年7月に閣議決定した「骨太の方針2020」において、行政手続をオンライン化するとともに、原則として書面や押印を不要とするよう見直しを進めている。</p> <p>(1) 本市におけるデジタル化推進への現状は。</p> <p>(2) 行政手続文書において押印廃止対象リストの洗い出し等、取組状況は。</p> <p>(3) デジタル活用支援員の人的支援についての考えは。</p> <p>(4) マイナンバーカードの申請・交付状況は。</p> <p>(5) マイナポータル・ぴったりサービスの活用状況と、今後追加を検討している項目は。</p>	市長 所管部長
2	小川 克己 12月8日(火) 10:45～  ※一問一答	1 千代川町のまちづくりについて	<p>国道9号やJR山陰本線が町内を横断する亀岡市の北の玄関口である千代川町のまちづくりは、現在地元の皆さんで立ち上げられた、亀岡市高野林・小林土地区画整理組合により、にぎわいのあるまちづくりが進められ、来春には商業施設が開店する予定である。</p> <p>(1) 住宅地に住む方もおられるが、町名の住居表示について、市としてアドバイスする考えは。</p> <p>(2) 土地区画整理事業完了には、「ほ場整備事業桂川西工区と整合を図った進捗が不可欠」と令和2年9月議会で答弁されたが、犬飼川橋梁設置工事の着手が遅れると聞いている。その解決策は。</p> <p>(3) 地域の皆さんのご尽力により、小林区の集会所が年内に完成し、地域コミュニティや自主防災の拠点となる。現在、本地域を所管する消防団の屯所は、国道9号をはさみ離れた場所にあり、現状は直接市道に接しており危険である。借地でもあることから、地域から移転要望も強くあるが所見は。</p> <p>(4) 子どもたちが国道9号の横断歩道を横断せず、地下道を通学するため、防犯カメラが設置された。JR千代川駅前交差点の地下道に向かう新たな通学路になる（予定路線名）市道小林2号線と市道高野林3号線はいつ接続されるのか。</p> <p>(5) 市道高野林3号線について、車道外側線の設置やカラー化を行うなど、歩行者への安全対策の考え方は。</p> <p>(6) 交通量調査も行っていただいた、子どもたちの通学路でもある市道川関小林線の安全対策の今後の予定は。</p>	市長 所管部長

		<p>2 災害情報について</p> <p>3 ドローンの活用について</p> <p>4 大人のひきこもりについて</p>	<p>本市において、今年は大きな風水害はなかったものの、気候変動の影響により近年は想定外の台風等の自然災害が発生している。今後、地震災害も危惧される中、停電や電話回線不通などあらゆる事態を想定しておかなければならない。災害時の情報共有、通信、伝達について問う。</p> <p>(1) デジタル同報系防災行政無線の状況は。</p> <p>(2) 今後、デジタル同報系防災行政無線の拡張や機能拡充、自治会等に個別受信機の配備を行う考えは。</p> <p>(3) 亀岡市デジタル移動通信システムを使い、関係機関と通信訓練の充実を行う等、有事に関係者が活用できるようにしなければならないと考えるが所見は。</p> <p>(4) 関係機関である陸上自衛隊は、亀岡市防災会議の委員に入っていないが所見は。</p> <p>(5) 気象警報や避難情報等は、様々な手段で市民に伝えることが重要である。現状と今後の新たな取組について、どのように考えるのか。</p> <p>ドローン技術を活用した取組は、空撮やスマート農業、防災など各方面に多様に使用されている。災害発生後の検証や、行方不明者の捜索等の観点から問う。</p> <p>(1) 市役所内におけるドローンの所有状況と主な使用目的は。</p> <p>(2) ドローン活用について協定の状況は。</p> <p>(3) 災害時や行方不明者の捜索、また、有害鳥獣の確認等には、広範囲かつ長時間の作業を要するという課題がある。協定を拡充し、多目的に使用できるドローンを所有する考えは。</p> <p>(4) 消防署や消防団と連携した、災害や火災を想定した訓練や、夜間の捜索訓練などの取組の検証を行うことについての所見は。</p> <p>2019年3月の内閣府の調査による中高年のひきこもりは、全国で推計61万人とも言われている。コロナ禍でますます取り巻く環境も厳しくなり、新たなひきこもりも発生している。</p> <p>様々な要因から長引くひきこもりであるが、社会から1人も取り残さない施策について問う。</p> <p>(1) 本市における、成人以降のいわゆる大人のひきこもりについて、実態把握はできているのか。</p> <p>(2) 相談窓口やカウンセリング支援の状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
3	<p>松山 雅行 12月8日(火) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 千代川町の活気のあるにぎわいづくりについて</p>	<p>桂川舟運歴史体験・展示施設の周辺整備について、整備不十分との声が多くあるが、現状と今後の対策について問う。</p> <p>(1) 施設運用が開始されてから運営に支障を来さないよう、今のうちに整備を早急に進める</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 通勤・通学路の安全対策について</p> <p>3 子ども・子育て支援について</p> <p>4 市民サービスの向上について</p>	<p>必要があるが、対策は。</p> <p>(2) 現状の課題、今後の展開案などを含めた自治会及び関係者との協議進捗はどうか。</p> <p>千代川小学校前の市道川関小林線の安全対策の現状について問う。</p> <p>(1) 横断歩道の設置要望箇所(千代川郵便局南側)に早急に安全対策が必要と考えるが、どうか。</p> <p>本市での「きょうと子育て応援パスポート」の活用状況について問う。</p> <p>(1) 現在、本市でのパスポートの周知方法と配布(アプリダウンロード)状況は。</p> <p>(2) 本市の協賛店舗数と店舗内訳は。</p> <p>(3) 本市でのパスポート利用率は。</p> <p>(4) 協賛店舗の拡充とサービス内容のさらなる充実の協力をお願いし、子育て世帯にアピールすべきだと考えるが、所見は。</p> <p>(5) (4)のサービス度合いを一定プラン化し、プランによっては店舗の動画広告を市役所の公式SNSで発信したり、情報発信のサポートをしてはどうか。</p> <p>(6) 市内商店での消費活動を促進してもらうため、ポイント付与機能もある「きょうと子育て応援パスポート」をこれまで以上にフル活用し、市内の商業応援につなげたいと考えるが、所見は。</p> <p>京都府・市町村共同公共施設案内予約システム及びスポーツ施設利用料について問う。</p> <p>(1) 予約システムを利用し、施設の空き情報の確認から予約完了までの流れは、現在どのようなになっているか。</p> <p>(2) 市民が遠隔で予約の確認及び備品の予約まで完了できるようサービスを向上させる必要があると考えるが、どうか。</p> <p>(3) スポーツ施設の利用料が、市内利用者と市外利用者の料金が一緒の施設があるが、市民サービスを向上させるためにも、市外利用者の利用料を値上げすべきと考えるが、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
4	<p>三上 泉 12月8日(火) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 SDGsを基軸とした市政運営について</p>	<p>亀岡市はSDGs(持続可能な開発目標)推進都市として国の選定を受けた。SDGsの目標(17項目、169のターゲット)を2030年までに達成するよう、自治体としての役割の発揮とともに、市民啓発・市民参画の推進、市内事業者や市内に関連する企業等との連携、近隣自治体との連携などに取り組む必要があると考える。</p> <p>(1) SDGsに関する市民の認知、評価などの意識動向の把握についてどのように考えているか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 高齢者や障がい者の移動手段とその支援について</p>	<p>(2) SDGs未来都市として、市民への啓発、市民参画の推進をどのように進めるのか。</p> <p>(3) 市内外事業者や近隣自治体との連携をどのように進めようとしているのか。</p> <p>高齢者等が免許を返納すべきか迷っている一番の理由は、車を手放した時に移動手段が確保できるかという点であろう。本市も、高齢者の支援策を講じているが、安心安全の暮らしを継続させるに十分なものとなっているかどうかは検証すべきところである。</p> <p>(1) 本市の免許返納者の推移は。</p> <p>(2) 敬老乗車券に係る販売実績や市民からの要望などにはどのような傾向や特徴があるのか。</p> <p>(3) 高齢者をはじめとした市民の自家用車以外の移動手段を今後どのように確保しようと考えているか。</p> <p>(4) 重い障がいのある市民の、通院等に係る移動の経費支援施策は、実態に応じた(利用券等)交付額になっているのか。</p> <p>(5) 福祉タクシー・バス・自家用車燃料給油利用券交付制度の概要と創設以来の推移は。</p> <p>(6) 年間12,000円では、月に2回の京都中部総合医療センターまでの往復で、なくなってしまうとの声を聞くが、領収証を付けた申請などへのさらなる補助などの新たな施策が必要ではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 少人数学級の必要性和市立学校教職員の確保について</p>	<p>教育再生実行会議の初等中等教育ワーキング・グループは9月8日に初会合を開き、ポストコロナ期も見据え、「新しい生活様式」を踏まえた少人数によるきめ細かな指導体制や環境整備を急務とする方向性を確認した。本市においても、これまでも少人数学級の必要性が確認され、議会においても、その旨を国に伝えていきたいとの答弁があった。</p> <p>(1) 今年度、国や京都府などにどのような働きかけを行ったのか。</p> <p>(2) 少人数学級による学級増に対応できる学校施設整備や教職員の定数改善も含めた、総合的な国への声をあげるべき時ではないか。市内の学校では先生の数が必要なままの状態のところがあると聞く。</p> <p>(3) どのような対応がなされているのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>4 子どもの遊び場、市民のスポーツ・憩いの場について</p>	<p>コロナ後の社会は一極集中型ではなく分散型の形態がより重視されると考える。3月議会でも取り上げたが、人口密集地域での子どもの遊び場が必要であり、子どもたちや保護者、地域からの要望も強い。</p> <p>(1) 亀岡駅北広場などの駅北以外の、各地域における子どもの遊び場、公園、遊具等の設置</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>計画についての進捗状況は。</p> <p>(2) 京都府バレーボール協会からも要望があった、ビーチバレーボールコート設置の検討の進捗状況は。</p> <p>(3) 以下に掲げる市内スポーツ施設に対する市民の要望に対する考えは。</p> <p>① テニスコートの利用時間単位を2時間から1時間にするなど、利用者のニーズに応じた運用を考えてはどうか。</p> <p>② 亀岡高校の部活に伴う、春日坂球技場の部活動時間に限った冬季ナイターの使用は。</p>	
5	<p>藤本 弘 12月8日(火) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 人口減少に歯止めをかけ、「子育てしたい、住み続けたいまち」への政策について</p> <p>2 スタジアムを生かしたまちづくりについて</p>	<p>合計特殊出生率の京都府下1位は福知山市で2.02人、近畿で2位、全国で1,885市で33位である。その要因は、働く場として長田野工業団地があり、子どもを産む世代が集まっており、「とかいなか」として大阪へも交通の利便性がよいとのことである。</p> <p>(1) 亀岡市が「人と時代に選ばれるまち」「子育てしたい、住み続けたいまち」になるため、一番大事な政策は何と考えるか。</p> <p>(2) 亀岡市では、地方創生臨時交付金を活用し、本年4月28日から来年3月31日までに生まれた亀岡市の新生児に対し、新生児特別定額給付金として1人10万円の支給を行っている。大変、喜ばれているが、来年4月1日以降の支給の考えは。</p> <p>(3) 国は、出産育児一時金を現行の42万円から50万円への増額を検討しているが、亀岡市は、第1子、第2子、第3子と出産祝い金を支給する考えはあるか。</p> <p>(4) 出産、子育て世代に、亀岡市に来てもらうため、働く場の提供として生産工場等の企業誘致についての考えは。</p> <p>(5) コロナ禍の中でリモートワークも増えているが、「とかいなか」としての魅力を上げるため、近隣都市との交通アクセスを充実することについての考えは。</p> <p>(6) 選ばれるまちかめおかの要件として、進学率トップや体育・音楽で特別優秀等、特色ある教育、魅力ある教育の充実についての考えは。</p> <p>(7) 学校教育施設の充実も選ばれる要素の一つとなるが、今後、どのような充実を考えているのか。</p> <p>スタジアムで試合のあるときは、多くの観戦者が全国から来られ、駅北広場でのマルシェも好評であるが、試合が終わると駅南へは行かず、そのままJRやバスで帰ってしまう。駅北には足湯もでき、湯の花温泉への誘客の仕掛けもできたが、駅南には、土産物を買う場所や食事をする場所、観光をする場所への誘客の仕掛けがあまりされ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 ふるさと納税20億円を目指した取組について</p>	<p>ていないと考える。</p> <p>(1) JR亀岡駅南の開発計画の考えは。</p> <p>(2) JR亀岡駅北のスタジアム横に、亀岡の業者によるホテルが建設されている。今年の秋にはオープンすると聞いていたが、いつオープンするのか。</p> <p>(3) スタジアムを中心とした滞在型観光の拠点として、他に2つのホテルの誘致が決定していると聞くと聞くと、基礎工事も始まっていない。いつ頃、どこに建設され、オープンするのか。</p> <p>(4) 当初50万人の入館者を目指し、令和2年1月に「麒麟がくる 京都亀岡大河ドラマ館」がスタジアム内に開設された。コロナ禍のため入館者目標が15万人に修正され、全世帯に平日無料券を配布し、この11月14日にリニューアルオープンしたが、入館状況は。</p> <p>(5) ドラマ館の開設期間を、当初、来年の1月11日までとしていたが、2月14日までの1カ月間延長されたが、さらなる誘客戦略の考えは。</p> <p>(6) 今年の8月に、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、寄附目標1千万円を達成したが、10月から第2弾として、「光秀公のまち亀岡」を支援するクラウドファンディングが、寄附目標5千万円として実施されている。現況と今後の取組は。</p> <p>ふるさと納税がいつまで継続されるかは分からないが、年間12億円が5年続けば、60億円を基金に積み立てることができる。</p> <p>(1) 前年度と比較して、現在のふるさと納税の状況（件数と金額）と今年度の見込みは。</p> <p>(2) 今年度から、ポータルサイトを4サイト増やし、8サイトで運営しているが、返礼品の供給体制は万全か。</p> <p>(3) ふるさと納税が年間15億円としても、3年間で45億円を基金に積み立てることができる。市債残高も毎年400億円程あるが、今後の取組の抱負は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
6	<p>西口 純生 12月8日(火) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>市民福祉の増進について、市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(1) 高齢者福祉の増進について</p> <p>①介護予防策に重要な居場所の減少について、その対応はどのように考えているのか。</p> <p>②安定した居場所づくりに問題点があるとするなら、何が考えられるか。</p> <p>(2) ふるさと納税の寄附金が、今では貴重な財源となっている現状がある。本年度は一気に増額が予想されると聞く。</p> <p>①本年度11月末現在の寄附金額と、年度末の見込額は。</p>	<p>市長</p>

		<p>② 市長を先頭に、職員の皆さんの努力で昨年度から一気に増額となったが、その努力に敬意を表す。返礼品に工夫があるのではと思うが、要因は何か。戦略的な内容があるので、言える範囲で所見を求める。</p> <p>③ コロナの影響も想定しながら、今までの経験を生かし、さらに次年度に向けての前向きな対応についての考えは。</p> <p>④ ふるさと納税の寄附金を活用し、コロナの影響で活動の中止や延期を余儀なくされている自治会に対して、どのような支援をしているのか。</p>	<p>長年要望活動を続けてきた桂川整備促進事業で、保津橋下流4カ所の霞堤嵩上げの実施が現実となるなど、着実に効果的な整備促進が進められており、今後の取組についても期待している。一方で、霞堤1m嵩上げと同時に、雨水内水処理問題をどのように対応するかが大きな問題である。今後の事業の促進を図る上において課題も残る。今度の課題として、次の項目について確認したい。</p> <p>(1) 京都府によると、霞堤の1m嵩上げであれば、内水処理は必要ないとのことであるが、根拠は何をもって示されているのか。</p> <p>(2) 1mの嵩上げだけでは、浸水を防ぐにはまだまだ不十分と見ている。内水処理問題の応急的措置の対応として、大型ポンプ車を配置するよう京都府に申し入れたが、配置の見通しは。</p> <p>(3) 京都府下に、4台のポンプ車が配備されていると聞く。被害を最小限に食い止めるために、亀岡市においてもこのポンプ車を緊急時に活用することができないか。</p> <p>(4) 亀岡市で有効に活用するために、出動手配の手順、ルート、設置場所の確認等の調査はできているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 桂川整備促進事業について</p>	<p>3 子どもたちへのスポーツ振興について</p>	<p>昨年、ラグビーワールドカップが開催され、来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される。また、京都スタジアムもオープンするなど、スポーツ振興の環境が整ってきた。子どもたちに夢をつなぐスポーツ振興のまちとして、活性化を図る事業推進施策について問う。</p> <p>(1) 亀岡市スポーツ協会から要望の出ている亀岡運動公園のトラック整備について、どのように考えているか。</p> <p>(2) 12月2日、ラグビーのトップリーガーが保津小学校にやってくるという触れ込みで開催された「プレイ トゥ インスパイアプロジェクト」は、どのような催しであったのか。</p> <p>(3) 子どもたちが、スポーツを通じプロ選手と</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>4 外国人の安全や災害発生時の避難誘導等の広報について</p>	<p>の交流で学ぶことは、非常に大きなものがある。子どもたちが夢を追い続けるためにも、多様なトッププレイヤーとの交流は重要である。事業の継続と成果を期待したいがどうか。</p> <p>(4) 亀岡出身のスポーツ選手が数多く活躍されている。講演等、子どもたちと一流選手との交流事業の今後の展開をどのように考えているのか。</p> <p>市内で生活する外国人の安全について、特に災害時の避難誘導については、外国人や子どもには理解し難いと言われている。わかりやすく、やさしい日本語で表記するなど、広報の取組について問う。</p> <p>(1) 外国人にもわかりやすい、やさしい日本語表記、また、理解し難いと言われているカタカナ表記は、広報ではどのようにしているのか。</p> <p>(2) 近年、ユニバーサルデザインが活用されはじめている。外国人の居住が増えている佐賀市の広報誌などを参考にしているかどうか。</p> <p>(3) 安全面においてもユニバーサルデザインが必要であり、すべての居住者の安全は行政の責任である。今後の対応はどのように考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
7	<p>木村 勲 12月9日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 環境先進都市について</p> <p>2 防災・減災のための浚渫事業について</p> <p>3 今年度のふ</p>	<p>2018年12月に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を出され、今年8月1日より「亀岡市ポイ捨て等禁止条例」が施行された。世界に誇れる環境先進都市を目指す現状と今後の対策について問う。</p> <p>(1) 本市のごみの不法投棄の場所と量の状況は。</p> <p>(2) 「亀岡市ポイ捨て等禁止条例」の施行後の変化は。</p> <p>(3) 不法投棄については監視パトロールをされているが、場所と人数と頻度は。</p> <p>(4) 亀岡の河川からごみをなくし、海洋マイクロプラスチックを減少させるための河川条例制定について所見は。</p> <p>ここ数年は毎年のように大型台風や豪雨による被害が全国で発生し、平成30年12月に国は「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を進めている。本市における河川浚渫事業の内容と対策について問う。</p> <p>(1) 令和2年度の浚渫推進事業の現状は。</p> <p>(2) 今後の保津川流域の浚渫事業予定は。</p> <p>(3) 大井町の増水危険河川の願成寺川の浚渫事業の予定は。</p> <p>本市におけるふるさと納税額は、桂川市長の手</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>

		<p>るさと納税の見込みについて</p> <p>4 水道設備の老朽化問題について</p>	<p>腕により、平成29年度は3億8千万円、平成30年度は6億円、令和元年度は11億円と倍々に増加しているが、コロナ禍における令和2年度の見込みについて問う。</p> <p>(1) 本年度のふるさと納税の現状と見込額は。</p> <p>(2) 返礼品の品目増加の予定は。</p> <p>(3) ふるさと納税の増額と財政健全化について所見は。</p> <p>11月7日の京都新聞の記事に全国で年間2万件超の漏水や破損事故が発生しており、水道管の老朽化が深刻であると掲載されていたが、本市の水道設備について問う。</p> <p>(1) 本市の水道管漏水・破裂事故の件数は。</p> <p>(2) 水道管の点検状況は。</p> <p>(3) 更新率及び今後の計画は。</p> <p>(4) 耐震化の現状と今後の計画は。</p> <p>(5) 水道法の一部を改正する法律によって本市の影響及び広域連携の推進計画はあるのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
8	<p>並河 愛子 12月9日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例について</p> <p>2 国民健康保険事業について</p>	<p>亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例は令和3年1月から施行予定であるが、議会では9項目の附帯決議が可決された。その中のいくつかの項目の対応について問う。</p> <p>(1) 「広く市民に周知し、理解を得ること」について、具体的な周知状況はどうか。</p> <p>(2) 「市外からの来訪者への啓発と対応について、明確な対策を講じること」について、広報等はどうか。</p> <p>(3) 「プラスチック製レジ袋の在庫について、効果的な方策を検討すること」について、各店舗の在庫分を市が買い取ること等の考えはどうか。</p> <p>(4) 「立入調査や違反者の公表等に至らないように、本市が指導と援助を行うこと」について、具体的な考えはどうか。</p> <p>(5) 「国において実施するレジ袋有料化等の施策との違いを明確にすること」について、市の広報や各店舗に掲示するチラシ等の考えはどうか。</p> <p>(6) 「社会的な諸状況を勘案して令和3年1月1日の本条例施行が適当でない認められるときは、議会と協議して施行期日延期も含めて検討すること」について、新型コロナウイルス感染症が収束していない現状では、延期すべきではないか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で市民の暮らしは厳しく収入減少で保険料の支払いが負担となっており、特に子育て世代への支援が急がれる。子どもの国保料均等割免除の実施について問う。</p> <p>(1) 対象人数はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 障がい者の日中一時支援事業について</p> <p>4 生活保護制度について</p>	<p>(2) 実施にどのくらいの予算が必要か。</p> <p>(3) 子どもの貧困は、家庭の貧困に原因がある。庁内で横断的に子どもの貧困をなくすことが目標に掲げられているが、子どもの国保料均等割免除は最も効果的な施策である。本市でも実施すべきであるがどうか。</p> <p>令和2年8月19日の亀岡市国民健康保険事業の運営に関する協議会資料では、滞納世帯の割合は、平成30年度は9.2%、令和元年度は8.8%とほぼ1割近い世帯が滞納世帯となっている。法定軽減は約6割ある中でそれでもなお、国保料を引き下げてほしいという声は切実である。国保料の引下げについて問う。</p> <p>(4) 令和元年度決算において、年度末残高の保険財政調整基金は4億7,500万円余りとなっている。一世帯1万円の引下げは十分可能であり、引下げを行うべきではないか。</p> <p>障害者総合支援法第77条で規定されている地域生活支援事業として、障がい者の日中における活動の場を確保し、見守りや家族のレスパイトなどを目的に障害者福祉サービス事業所などで委託されている事業について問う。</p> <p>(1) これまで利用されていた南丹市にある事業所との契約が打ち切りとされたが、新しい事業所へ移行できていない利用者はいないのか。</p> <p>(2) 同じようなサービスを受けたいと思っても決まっていない利用者に対し家庭訪問等を行い、利用者への丁寧な説明や支援が必要と思うが、現状はどうか。</p> <p>生活保護問題について問う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症等での影響で失業された方も多いと聞かすが、本年1月からの生活保護申請数と受給決定件数はどうか。</p> <p>(2) 決定に至らなかった要因は何か。</p> <p>(3) 福祉事務所の指導の中で、意向に沿わない場合の保護決定取消しはあるのか。</p> <p>(4) 申請者が保護申請する際、本人が依頼した人と同席することについての考えはどうか。</p> <p>(5) 夏のクーラー代として夏季見舞金の創設はどうか。市独自の支援策が必要ではないか。</p> <p>(6) 以前見舞金として京都府が取り組んできた経過があり、京都府に復活を求めるべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
9	<p>富谷加都子 12月9日(水) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 「SDGs未来都市」構築に向けた取組について</p>	<p>亀岡市は、令和2年7月17日、内閣府によりSDGs(持続可能な開発目標)未来都市として、優れた取組を行う自治体として認定され、現在、SDGs未来都市計画に沿って、様々な事業が実施されている。</p> <p>(1) SDGs未来都市として、市民の認識には</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 こどものあそびばの充実について</p>	<p>温度差がある。一人でも多くの市民が、SDGsを理解し、協働していただくことが重要である。まずはSDGsに興味を持っていただくべきであるとする。</p> <p>①JR4駅や庁舎前での横断幕や垂れ幕が一番のPRであるとするがどうか。</p> <p>②商業施設等での啓発ポスターの考えは。</p> <p>(2)かめおか霧の芸術祭を皮切りに、農業・観光・環境と事業展開がスタートしている。今後も、SDGs普及啓発に向けたイベントがきっかけとなり、参加層が広がることを期待するが、具体的な計画はあるのか。</p> <p>(3)未来のまちづくりの主体者である児童生徒や市民に対して、SDGsについての学びの提供は重要である。その取組として、市の図書館に子どもSDGsコーナーや一般向けのSDGs特設コーナーを設置してはどうか。</p> <p>(4)環境先進都市かめおかのプラごみゼロの環境ロゴマークバッジを作成してはどうか。</p> <p>(5)SDGsの取組として食品ロス削減もその一つである。以前、食を守る支援としてフードボックスの設置とフードバンクの連携を提案したが、検討結果は。</p> <p>ポストコロナ時代に向け、こどものあそびばも新たな視点が求められる。乳幼児期の遊ぶ機会は、子どもの健やかな発達に必要であり、子育て世代を孤立させない大切な居場所となる。</p> <p>(1)今後は、ポストコロナ時代の対応や障がいのあるなしに関わらず一緒に遊べるインクルーシブなあそびばの整備が望まれるが、今後のあそびばの構築において、ユニバーサルデザインに配慮した考えは。</p> <p>(2)こどものあそびばの構築にもアーティストの方々の知見を活用すれば、市の独自性に富む場になると考えるが、活用されているのか。</p> <p>(3)屋上庭園のあそびばと階下の庭園との移動の動線が外からも可能になれば、階下の庭園も交流の場になると考えてよいか。</p> <p>(4)今年の夏は酷暑が続いたが、新型コロナウイルス感染症で市民プールも中止された。そうした中、かめきたサンガ広場の噴水が、乳幼児の水遊びの絶好の場所になった。乳幼児をもつ保護者から、「他にも乳幼児の水遊び場がほしい」との声があるが、期待に応えることはできるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付（緊急小口資</p>	<p>未曾有の新型コロナウイルスの影響で市民生活は、大打撃を受けたが、国の支援策の特例緊急貸付は、生活の支援策として、大いに貢献したと考える。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>金・総合支援資金)について</p> <p>4 広報紙キラリ☆亀岡とキラリ亀岡おしらせについて</p> <p>5 街路樹の適正管理について</p>	<p>(1) 11月末現在で、特例貸付を利用された人数は。</p> <p>(2) 特例貸付はコロナ禍による救済支援の要素を含むが、償還免除の特例とは。</p> <p>(3) 貸付期間延長の詳細とは。</p> <p>情報通信技術の利活用が進む中、紙媒体である広報紙は、市民への大きな情報伝達の手段である。</p> <p>(1) キラリ☆亀岡とキラリ亀岡おしらせそれぞれの月間の発行部数は。</p> <p>(2) 「キラリ亀岡おしらせをカラーにして、見やすくしてほしい」との声があるが、広報紙を一つにまとめられないのか。</p> <p>(3) 「おしらせの表に、日程が限定できる催し・案内を記載したスケジュール表を明記してほしい」との声があるがどうか。</p> <p>(4) キラリ亀岡おしらせも時代とともにリニューアルし、進化すべきであると考えが所見は。</p> <p>街路樹は、景観の美しさをはじめ、暑さ寒さを防いだり空気を浄化したり多くの利点を備えているが、沿道住民への負担軽減は必要である。</p> <p>(1) 河原町商店街に面するふれあい通りの街路樹の落ち葉に対する苦情が多く寄せられたが、街路樹の生育状況の把握等、適正管理はどのようにされているのか。(剪定等維持管理の方向性)</p> <p>(2) 街路樹の保全は、市民協働なしには成り立たないと考えるが、どのような取組をしているのか。</p> <p>(3) ふれあい通りの沿道住民から、「大木化により多くの落ち葉が発生し、車から歩行者が見えず危険である」「湿った落ち葉で転倒の危険がある」等の苦情が出ている。安全確保の観点から、自治会からも間引きの要望があるが対処できるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
10	<p>平本 英久 12月9日(水) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 子ども宅食事業の実施について</p> <p>2 コロナ禍の市立学校行事の在り方について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナ）により活動が困難となっている子ども食堂を補完することができる、子ども宅食事業について本市の考え方を問う。</p> <p>(1) 子ども食堂の活動状況と課題はどうか。</p> <p>(2) 子ども宅食事業の実施について、本市として導入の検討は行っているのか。</p> <p>(3) 子ども宅食事業を実施するとすれば、どのようなプロセスが考えられるのか。</p> <p>新型コロナ感染予防のため学校行事の中止や規模縮小など安全対策に取り組まれているが、今後の学校行事の在り方について問う。</p> <p>(1) これまで新型コロナの感染防止に取り組ま</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 児童虐待やDVの現状と対策について</p> <p>4 有害鳥獣による農作物被害対策について</p>	<p>れてきたが、現状と課題はどうか。</p> <p>(2) これまでの予防対策について、児童生徒や保護者の意見はどうか。</p> <p>(3) 今後の学校行事や記念事業をどのように実施していくかを検討しているのか。</p> <p>全国的に増加傾向にある新型コロナの影響とみられる児童虐待やDV、自殺の増加について本市の現状と今後の対策について問う。</p> <p>(1) 児童虐待及びDVに関する通報や相談件数の現状はどうか。</p> <p>(2) 児童虐待やDVとも関連する貧困対策や生活支援などの対応はどのように行っていくのか。</p> <p>(3) 全国的に増加傾向にある自殺について、何か対策を検討しているのか。</p> <p>これまでも取り組んできた有害鳥獣による農作物への被害対策について問う。</p> <p>(1) 今年度11月までの有害鳥獣の捕獲実績はどうか。</p> <p>(2) 猟友会、その他団体による手段別の鳥獣駆除の実績はどうか。</p> <p>(3) 今後新たな鳥獣捕獲及び駆除方法を何か検討しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
11	<p>竹田 幸生 12月9日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 高齢者政策における地域包括支援センターについて</p>	<p>高齢化が進む中で、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、医療、介護の増加が見込まれる。厚生労働省は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで持続できるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進している。中でも2000年(平成12年)に施行された介護保険制度が要となっている。亀岡市では、いきいき長寿プランに基づき、介護保険制度を運用しており、当該制度で地域の高齢者支援の窓口となっているのが「地域包括支援センター」である。亀岡市における高齢者福祉の在り方、介護保険制度の地域包括支援センターの在り方について問う。</p> <p>(1) 高齢化社会に向けた基本的な考えはどうか。</p> <p>(2) 高齢者の人口割合はどうか。</p> <p>(3) 介護保険制度とはどのような制度か。</p> <p>(4) 市域を7つの圏域に分けている理由は。</p> <p>(5) 介護認定の状況はどうか。</p> <p>(6) 認定を受けている人のうち、介護サービスを実際に利用している人の割合はどうか。</p> <p>(7) 介護保険制度の予算の推移はどうか。</p> <p>(8) 地域包括支援センターとはどのような位置づけか。</p> <p>(9) 令和2年度は6つの地域包括支援センター</p>	<p>市長 所管部長</p>

			<p>で対応したが問題はなかったか。</p> <p>(10) 令和3年度からは7つの地域包括支援センターで対応するため、新たな委託先が決定したと聞くと、経過はどうであったか。</p> <p>(11) 新たな委託先の体制の状況はどうか。</p> <p>(12) 機能強化として基幹型センターの配置を検討されているが、どのような考え方に基いているのか。</p>	
12	<p>長澤 満 12月9日(水) 14:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 第5次亀岡市総合計画の「本市の目指す都市像」の趣旨などについて</p> <p>2 プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例施行規則について</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p>今回の議会に第5次亀岡市総合計画案が提案された。市民の意見の公募や本議会各会派の意見の提出を経て、所管の特別委員会で審議を行うが、計画の基本的な考え方について問う。</p> <p>(1) 目指す都市像を「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」としているが、他市と同様の事例では、ある広域の中での指導的役割や、ある政策分野での先駆的役割などの趣旨がみられる。本市は、広域の中での指導的役割ではなく、「SDGsの理念を先駆的に実行する」という考え方であるのか。</p> <p>(2) 本年6月議会で、シティプロモーションの趣旨と市民の役割に関する質問に対し、趣旨を説明の上、市民に「営業マン」の役割を期待すると答弁されたが、市民の役割は、商品（観光資源）の営業マンにとどまらず、地域の観光資源の創作者、観光を含むまちづくりの主体者でもあると考えるがどうか。</p> <p>本規則は本年11月1日公布された。3月議会において、本条例は「罰則を重視するという気持ちではない」との市長答弁があり、「立入調査や違反者の公表等に至らないように本市が指導と援助を行うこと」との附帯決議がなされた。これに則って実施されることを前提として、本規則について問う。</p> <p>(1) 意見を述べる機会の付与について、書面による方法のみとした理由は、口頭による陳述もできるようにすべきではないのか。</p> <p>(2) 公表（条例第13条）をする前に「意見を述べる機会の付与」「審査会の意見聴取」が行われるが、意見を述べる機会の付与を先行し、その結果も踏まえて審査会の意見聴取を行うのか。</p> <p>大都市に隣接する本市で、これまでの感染状況は市民や事業者の感染防止の努力の結果と思われる一方で、今後は予断を許さない状況にある。本市の今後の新型コロナウイルス感染症対策について問う。</p> <p>(1) 本市における検査体制の整備状況や市民の相談・受診の方法について、京都府などと共通の内容で、市民にわかりやすい情報提供をすべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管室長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 当面の中小企業支援施策について</p> <p>5 本市の生活保護施策について</p>	<p>(2)本市域内の施設で集団感染が発生した場合の対応方針は。特に医療・福祉等の施設について、厚生労働省の最近の事務連絡(11月19日付・20日付)等の趣旨も踏まえ、京都府などとともに予防的な検査の実施も検討してはどうか。</p> <p>地域社会がコロナ禍に直面し、本市はプラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の施行に向かう中で、当面の中小企業支援施策について問う。</p> <p>(1)コロナ禍に対応して本市の実施する需要喚起型の中小企業支援施策について、実施方法や波及効果の検討と議論が重ねられてきたが、現時点でどのように考えているのか。</p> <p>(2)亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の施行に対応して、各事業者が顧客に対する啓発等の独自対策(個別紙袋以外)を行う場合に、その経費の補助制度を検討してはどうか。</p> <p>最近のコロナ禍などの下で、国民の生存権を保障するセーフティネットとして、生活保護制度の役割は重要である。本市の最近の生活保護施策について問う。</p> <p>(1)令和元年度までの3カ年度程度の相談・申請・決定の件数の実績と、その過程で却下となる理由は、次のような区分、又は適宜の区分でみて、どのような状況であるか。</p> <p>①制度の照会にとどまる場合。 ②資産・収入の状況による場合。 ③扶養関係の状況による場合。 ④稼働能力の状況による場合。 ⑤他の支援施策につなぐ場合。</p> <p>(①~⑤の理由は重複もあり得ると考える。)</p> <p>(2)相談から申請・決定までの過程で、相談者の願いや権利を尊重して対応しているのか。相談の過程で把握する実情や課題を施策の方針に反映しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
13	<p>石野 善司 12月9日(水) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	1 市長の政治姿勢について	<p>令和3年度予算編成については、市民の意見に傾聴し、市民生活の実態をしっかりと把握した上で、社会情勢の変化や、市民ニーズの多様化を的確に捉え、各々の所属を超え全庁横断的に情報や課題を共有しなければならない。また、既存概念を捨て柔軟な発想により、市民に真に重要かつ優先度の高い事業の選定に努め、スクラップ・アンド・ビルドを基本とし、先進的、戦略的な魅力ある事業を創造・推進することとし、3つの柱を基本として編成すると市長は述べられている。</p> <p>(1) 予算編成の3つの基本的な考えとは。 (2) 財政状況の年度内見通しは。</p>	市長 所管部長

		<p>2 獣被害対策について</p> <p>3 新生児特別定額給付金の支給について</p> <p>4 水道行政の現状と課題について</p> <p>5 大河ドラマ館の新装オープンについて</p> <p>6 市道馬堀停車場篠線整備について</p>	<p>昨年の秋に続き、本年も熊が各地の市街地に出没し被害が出ている。暖冬のために冬眠が遅れ、住宅街に現れるヒグマやツキノワグマが後を絶たず、冬眠に必要な餌不足も指摘され、熊による被害で死者も出ている状況である。</p> <p>(1) 本市での現状は。 (2) どのような安全対策を講じているのか。 (3) 今後の課題は。</p> <p>新型コロナウイルス対策として、国の特別定額給付金の対象にならなかった新生児に対して、市独自で新生児特別定額給付金を支給する。令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児が対象で、約550人の支給を見込んでいる。</p> <p>(1) 新生児特別定額給付金の支給状況は。</p> <p>水道事業は、今日まで市民生活と都市機能を支えるライフラインとして重要な役割を担っている。水道ビジョンに示された中長期的な視点で事業運営に取り組むとともに、清浄、豊富、低廉という水道の基本理念を使命として、課題解決等の達成に向けた事業の推進と重点推進施策における目標達成に向けた進捗管理を図り、経営効率化及び健全化に努めながら、安全でおいしい水の安定供給に取り組んでおられる。</p> <p>(1) 業務の状況は。 (2) 経営の状況は。 (3) 施設拡張事業は。 (4) 今後の課題は。</p> <p>放映中の「京～伏魔殿編」に合わせ、大河ドラマ館がリニューアルオープンした。ドラマのクライマックスの舞台になるとされる本能寺山門のパネル写真や、ドラマで使用された鎧を展示する等、同館はドラマの「美濃編」「越前編」に合わせ展示内容を変えており、今回が最終リニューアルとなる。また、ドラマの延長に合わせて、開館期間も来年2月14日までの延長が決まっている。</p> <p>(1) 入館者の推移は。 (2) ドラマ館の契約期間終了後の考えは。</p> <p>市道馬堀停車場篠線整備について、広道交差点を少し南進した付近の家屋が解体されており、また、用地取得済み箇所から側溝設置等の部分的な工事もされている。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。 (2) 今後の見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
14	三宅 一宏 12月9日(水) 16:30～	1 職員の人材育成について (能力向上スキ	今回の新型コロナウイルス感染症に係る対応も含め、年々複雑化・多様化している市民ニーズに対応するためには、職員力の最適化が必要であ	市長 所管部長

※一問一答	ルアップ)	<p>ると考える。本市の人材育成について問う。</p> <p>(1) 本市において、人材を育成するための基本方針はあるか。あるのであれば、どのようなものか。</p> <p>(2) 人材育成の計画を策定しているか。策定しているのであれば、どのようなものか。</p> <p>(3) 人材育成の経費について、決算資料が残っている10年前(平成22年度)、5年前(平成27年度)、3年前(平成29年度)そして、今年度(令和2年度予算)の研修に係る経費の総額はいくらか。また、10年前に比べて、増減した理由は何か。</p> <p>(4) 職員1人当たりの研修経費が少ないように思うがどうか。</p> <p>(5) ここ数年で多くの幹部職員(部長級)が退職年齢を迎えると聞いている。議会や市民への対応はもちろん、今後の市政推進に一時の停滞も許されないばかりか、さらに加速させる必要があると考える。幹部職員の大量退職に対応できるよう、計画的に人材育成を進めていると思うが、どのように取り組んでいるのか。</p> <p>(6) 本市では、まちづくりにふさわしい優秀な人材を採用するため、幅広い層からの採用を目指し、特徴ある採用方式をとっているが、そうした人材が活躍するためには、一定の研修や相当の経験を積むことが必要となる。今後、採用、研修、人事異動等、どのようにバランスを取りながら体制を作っていこうと考えているのか。</p>	
	2 歩行者横断時の車の一時停止状況について	<p>信号機のない横断歩道を歩行者が横断しようとしている場合、車は一時停止しなければならないが、一般社団法人日本自動車連盟が2020年に実施した「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査」によると、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車の率は、全国平均21.3%(京都府19.9%)であり、約8割の車が止まらないという結果であった。ちなみに、トップは長野県で72.4%である。</p> <p>(1) この報道をどのように考えるか。</p> <p>(2) 「かめおか 横断歩道はキッチリ停まろう」キャンペーンについては、亀岡市のイメージアップにつながり、交通安全の実効値もアップすると思うがどうか。</p> <p>(3) 市内の横断歩道に、速度抑制ポール狭窄を設置することにより、横断歩道停止の促進につながると思うが設置の考えは。</p>	市長 所管部長
	3 公用車の更新について	<p>現在、使用している公用車の管理について問う。</p> <p>(1) 公用車の更新の基準はどうなっているか。</p>	市長 所管部長

			<p>(2) 最近、従来あった軽バン電気自動車に加えて、新しく電気自動車を採用されているが、どのような車で、用途はどうなっているか。</p> <p>(3) 市長公用車の車種、年式、走行距離は。</p> <p>(4) いつまで使うのか。</p> <p>(5) 経費削減で購入できないのであれば、新しく採用した電気自動車を市長公用車として運用することにより、ゼロエミッションを掲げる亀岡市としてもPRになると考えるがどうか。</p>	
15	<p>田中 豊 12月10日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 パートナーシップ宣誓制度について</p> <p>3 環境行政について</p> <p>4 農林行政について</p>	<p>安倍晋三首相が退陣し、菅義偉政権が発足してから12月16日で3カ月になる。早くも浮き彫りになったのは、安倍政権以上の強権政治の危険である。日本学術会議への人事介入はその最たるものである。新型コロナウイルス感染症の広がり、かつてない困難に直面している国民に「まずは自分でやってみる」ことを強調し、「自己責任」を押し付ける冷たい姿勢もあらわである。</p> <p>(1) 「私が目指す社会像は、『自助・共助・公助』そして『絆』です」と菅義偉首相が所信表明演説で打ち上げた。新型コロナウイルス危機で行き詰まりに直面する「自己責任」を押し付け、国民の命と暮らしを守るという政治の最大の責任を放棄する宣言であったが、菅首相の『自助・共助・公助』に対する所見は。</p> <p>パートナーシップ宣誓制度について問う。</p> <p>(1) 京都市で同様の制度が9月からスタートし、京都新聞でも当事者の思いが報道されたが所見は。</p> <p>(2) 制度をどのような形(条例、要綱等)で担保するのか。</p> <p>(3) 宣誓の要件はどうか。</p> <p>(4) 宣誓に必要な書類はどうか。</p> <p>(5) 担当窓口はどこか。</p> <p>(6) いつから開始するのか。</p> <p>蔭田野町奥条で大規模な残土置場が計画されていることについて問う。</p> <p>(1) 林地開発面積は。</p> <p>(2) 林地開発許可と亀岡市の関わりはどうか。</p> <p>(3) 「亀岡市土砂等による土地の埋立て、盛土、堆積行為及び切土の規制に関する条例」を一部改正し、市が立入調査をできるようにしてはどうか。</p> <p>高収益作物次期作支援交付金(新型コロナ対策)制度について問う。</p> <p>(1) 運用見直しがなされたが、その理由は。</p> <p>(2) 市内農業への影響はどうか。</p> <p>(3) 農家の立場に立って、運用見直しを撤回す</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>るように国に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>農水省は10月16日、2021年産の主食用米の「適正生産量」を679万トンに設定した。本市における来年度の水稲作付について問う。</p> <p>(4)本市における来年度の水稲面積の目標値はどうか。</p> <p>(5)本市における2019年度、2020年度の主食用米作付面積、転作面積、自己保全面積の推移はどうか。</p> <p>(6)この推移から本市の農業の現状に対する所見は。</p> <p>(7)市場任せの米政策、地域や生産者の「自助」を強要する従来の農政を転換し、政府が責任を果たすべきだと考えるがどうか。</p> <p>(8)米の需給や価格の安定に政府が責任を持ち、麦や大豆等の増産に輸入を抑制するなど、主食用米以外の作物を安心して作れる条件を整えることが必要だと考えるがどうか。</p> <p>(9)戸別所得補償の復活をはじめ、麦・大豆、飼料作物などの生産費に見合った価格保障をすることが大事だと考えるがどうか。</p>		
	5 教育行政について	<p>育親中学校区における学校規模適正化の取組について問う。</p> <p>(1)11月24日、26日、27日に育親中学校区で説明会が開かれたが、どうであったのか。</p> <p>(2)教育委員会の「学校規模の適正化」とはどのような内容か。</p> <p>(3)「学校を統廃合して学校規模が大きくなれば児童・生徒に切磋琢磨が生まれ学力が高まる」という客観的データはどうか。</p> <p>(4)「複式学級は学力低下を招く」という客観的データはどうか。</p> <p>(5)この間、ウィズコロナ時代の少人数学級について、国会をはじめ、多方面で言及されているが所見は。</p> <p>(6)平成28年3月策定の「学校規模適正化基本方針」の見直しが必要だと考えるがどうか。</p>	教育長 所管部長	
16	<p>菱田 光紀 12月10日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	1 市長の政治姿勢について	<p>亀岡駅南地域のまちづくり構想と文化資料館整備の今後の取組について問う。</p> <p>(1)亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想について、城下町地域ならではの個性を生かし、鉾町ならではの景観の保全・町並み整備が必要だと考えるが市長の所見は。</p> <p>(2)まちづくり構想の中から三宅町が外れているが組み入れるべきではないか。</p> <p>(3)文化資料館の整備とあわせて、亀岡祭山鉾会館(仮)の整備が必要と考える。文化資料館の展示の目玉として山鉾展示をしてはと考えるが市長の所見は。</p>	市長 所管部長

		<p>2 市道中矢田篠線の西進と今後の計画について</p> <p>3 学校規模適正化の取組について</p>	<p>市道中矢田篠線の西進（市道城山医王谷中山線）と今後の計画について2案があると聞いている。国道の渋滞解消のためにも早急な取組が求められる。</p> <p>(1) 現在の取組状況は。</p> <p>(2) それぞれのルートのメリット・デメリットは。</p> <p>(3) 早期に課題を解決して国道のバイパス効果を確保すべきと考えるがどうか。</p> <p>小・中学校の学校規模適正化について、令和2年9月議会の一般質問でも取り上げたが、現在の進捗状況等について問う。</p> <p>(1) 学校規模適正化全体の取組状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 過日の「亀岡中学校ブロック協議会」でつじヶ丘小学校に通学する亀岡地区の児童について、亀岡小学校区に変更することが提案された。今後の手続はどのように進められるのか。</p> <p>(3) 校区変更に伴い通学路の安全確認とその対策が求められる。</p> <p>① 検討している亀岡小学校までの通学路はどのコースか。</p> <p>② 市道上矢田矢田口線のうち、府道枚方亀岡線から市道中矢田篠線の間は一定の交通量があることに加え、狭く、通学にとって危険と思われるが拡幅の予定は。</p> <p>③ 市道新町中矢田線の国道矢田口交差点までの間が狭く、通学時間帯の自動車の交通規制が必要と考えるがどうか。</p> <p>④ 国道矢田口交差点で信号待ちをする際の待機場所が十分確保できない状況にあるが、対応策は。</p> <p>⑤ 君塚などからの通学路として府道枚方亀岡線が有効と考えるが、現在進められている道路改良の進捗状況と国道下矢田交差点の改良見込みは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
17	<p>赤坂マリア 12月10日(木) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 環境問題について</p>	<p>環境問題について問う。</p> <p>(1) 令和2年3月議会から連続で質問しているが、雑水川上流ごみの進捗状況は。また、撤去計画についてどのような聞き取りをしたのか。</p> <p>(2) 市内の街路樹の根本が傷んで、歩道が凸凹したり、ひび割れが生じているが、把握しているのか。</p> <p>(3) 市内の歩道や街路樹などのメンテナンスはどうなっているのか。</p> <p>(4) 高齢者や体の不自由な方もいる中で、歩道が歩きにくいことは、生活に支障を来すと考えるが、今後どのように改善するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 公共交通について</p> <p>3 学校教育・平和学習について</p>	<p>公共交通について問う。</p> <p>(1) 令和2年9月議会で、タクシー事業者を公共交通の一部に取り入れてはどうかと質問したが、部長の答弁で「運転手の手配や運行管理など、タクシー事業者との連携は検討できるのではないかと考えている」と前向きな答弁をされたが、その後の進捗状況は。</p> <p>(2) 令和2年12月に公共交通対策特別委員会で、提言書を提出したが、各地域での地域主体型交通を進めるための取組を早急にするべきではないか。</p> <p>学校教育・平和学習について問う。</p> <p>(1) 教育研究所の在り方は。</p> <p>(2) 教育研究所に勤務する現職の教職員の人数は。</p> <p>(3) 今後教育研究所をどのようにしていくのか。</p> <p>(4) 教育研究所ではなく、市役所庁舎内に部署を設けてはどうか。</p> <p>(5) タブレット導入後の管理等はどうなるのか。</p> <p>(6) タブレット導入後の毎年の予算確保は。</p> <p>(7) 亀岡市は世界連邦・非核平和都市宣言をしているが、子どもへの平和学習の機会として、どのような取組をしているのか。</p> <p>(8) コロナ禍で修学旅行が中止になる中、いま一度、修学旅行の意義や目的などを見直す機会であると思われるが、今後の見通しは。</p> <p>(9) 修学旅行の行き先は、どのように決められているのか。</p> <p>(10) 修学旅行の行き先についての課題は。</p> <p>(11) 子どもには「生きた学習」をさせることが大事だと考える。沖縄県では、現地で見ることのできない豊かな自然に触れながら環境問題についても学べる一方で、社会問題にもなっている基地問題など生きた平和学習も可能であると考え、環境「平和」「歴史」をトリプルで学ぶ沖縄県への修学旅行を強く提案したいと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
18	<p>大塚 建彦 12月10日(木) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想について</p>	<p>亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想は、亀岡市の顔となる拠点づくりや、歴史的資産の保全・活用に関して、一体的な取組を行うことにより、亀岡駅エントランスエリアと城下町エリアの個性や特色を生かして、住む人にとっても、訪れる人にとっても居心地のよい、経済が生き生きと躍動する魅力ある街づくりを掲げている。</p> <p>(1) 駅前から南郷公園までのエントランスエリアの改修工事の予定は。</p> <p>(2) 構想の中に「憩い・休憩場所の強化」として、簡易児童遊園の改修により心地良い空間づくりという項目があるが、具体的な内容に</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>ついて、地元自治会などの関係者と協議する考えは。</p> <p>(3) 景観に加えて、城下町エリアは災害時における安全性の観点からも無電柱化が必要と考えるがどうか。</p> <p>(4) ユニバーサルデザインに配慮されたインクルーシブな公園とはどのようなものか。</p> <p>(5) ガレリアかめおかエイジレスセンター内の「こどものあそびば」に設置する遊具を選定する際に配慮したことは何か。</p>	
	2 ごみ減量、資源化について	<p>令和2年8月から、ごみ減量・資源化対策として実施している、埋立てごみ中間処理事業について問う。</p> <p>(1) プロポーザル方式で事業者選定を行った際、評価項目のうち、最も重視した内容は何か。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症は、本事業にどのような影響を与えたか。</p> <p>(3) 事業開始から4カ月経過したが、現時点での成果とそれに対する評価は。</p> <p>(4) 今後の課題は。</p> <p>(5) 来年度の予算及び業者選定方法についてどのように考えているのか。</p>	市長 所管部長
	3 休日急病診療所のコロナ対応について	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の第3波の到来が危惧される中、従来のインフルエンザの急増が予想される。</p> <p>(1) 休日急病診療所ではどのような対応をされるのか。</p> <p>(2) 対応できる人員は確保できているのか。</p> <p>(3) 昨年度におけるインフルエンザ流行期の来院患者数は。</p> <p>(4) 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策などの理由で、インフルエンザの発生が少ないと予測されているが所見は。</p>	市長 所管部長
	4 ポイ捨て等禁止条例制定後の変化について	<p>令和2年8月1日施行された、亀岡市ポイ捨て等禁止条例の施行後の効果について問う。</p> <p>(1) どのような人員体制で、監視を行っているのか。</p> <p>(2) 条例施行の成果と今後の課題は。</p> <p>(3) ポイ捨て防止重点地域に隣接する周辺地域でポイ捨てごみが目につくが対策は。</p> <p>(4) ポイ捨て防止重点地域以外の見回り状況と成果は。</p> <p>(5) エコウォーカーの具体的な取組内容は。</p> <p>(6) 高齢者や子どもの安全を見守る、青色パトロールなどの車での見守り隊に、行政から車載カメラを貸与し、ポイ捨ての監視も行ってはどうか。</p>	市長 所管部長
	5 亀岡駅南周	<p>亀岡駅南周辺地区再生整備計画を策定するた</p>	市長

		<p>辺地区都市再生整備計画について</p> <p>6 サッカースタジアムにおける障がい者の就労支援について</p>	<p>め、1,000万円の予算を計上し、今後のまちづくりについて、まちづくり協議会と話し合いを続けてきた。</p> <p>(1) まちづくり協議会との話し合いを踏まえ、どのように予算執行されるのか。</p> <p>(2) 予算の中には、地元住民へのアンケートによる意識調査、コンサルタントとの契約、地元住民との意見交換会などの経費が含まれているのか。</p> <p>(3) 亀岡市の考える望ましい亀岡駅前地区の風景は。</p> <p>(4) アフターコロナを見据え、亀岡駅北、南周辺地区を一体的にアピールし、賑わいを創出するためWi-Fi環境を整備してはどうか。</p> <p>令和2年11月24日付けで、亀岡市障がい者就労支援共同センターが、サンガスタジアムbyKYOCERAにおける障がい者の就労機会創出へのご配慮についての要望を株式会社京都パープルサンガに提出した。</p> <p>(1) 要望に対する京都パープルサンガからの回答内容は。</p> <p>(2) 事業実施が可能となる場合、亀岡市の支援内容は。</p> <p>(3) サンガのホームゲーム開催時の車椅子席の利用率は。</p> <p>(4) 亀岡駅北口から一般来場者や障がい者が利用できるスタジアムのエレベーターまでの動線は。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
19	<p>木曾 利廣 12月10日(木) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 京都・亀岡</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による売上の激減など、営業損失は、市内の小売業者をはじめ、多くの事業者に大打撃を及ぼしている。国、京都府、亀岡市では、経済対策が行われているが、現在第3波の感染拡大が全国的に起こり、今後、クリスマスや年末年始の商売繁忙期には、消費の一層の冷え込みが予想される。令和2年8月26日付けで、亀岡商工会議所の会頭から、齊藤議長に対して、亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の施行期日延長の申し入れがあった。</p> <p>(1) 商工業者を代表する亀岡商工会議所から、「新型コロナウイルス感染症の収束が確実に見込める時期まで延期してほしい」との要望があるが、現状認識は。</p> <p>(2) 亀岡商工会議所が市議会に対して、申し入れた内容は、令和2年3月24日付けの環境厚生常任委員会委員長発議による、全会一致の附帯決議9項目の内容を重視されていると思うが、今後の対応は。</p> <p>当初は、京都スタジアムの予定地として購入し</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>

		保津川公園整備計画について	た、京都・亀岡保津川公園の整備・保全の在り方について問う。 (1) 環境保全専門家会議による経過は。 (2) 亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想の整備基本計画は。 (3) 京都・亀岡保津川公園整備計画に係るワークショップの概要は。 (4) 環境市民部が用地取得する予定地との整合性は。また、今後の環境保全計画と公園管理は。	所管部長
		3 桂川河川改修整備について	河川増水時に増え続けている、桂川堆積土砂の撤去について、保津橋より上流部の撤去計画について問う。 (1) 令和2年度計画の河川内土砂撤去の現状は。 (2) 宇津根橋から月読橋間の土砂の撤去計画は。 (3) 桂川舟運歴史体験・展示施設の今後の運用は。	市長 所管部長
		4 まるごとスタジアム構想について	令和2年9月議会で、京都スタジアム関連事業経費の補正予算が計上されたが、その後の経過について問う。 (1) 予算審査の経過で指摘した、職員の提案内容も含めて業務委託したのか。 (2) 提案されている内容について、幅広い専門家や関係者会議の経過は。	市長 所管部長
		5 学校規模適正化について	令和2年度から実施している、東輝・詳徳中ブロックと亀岡中ブロック、別院中ブロックの経過について問う。 (1) 東輝・詳徳中ブロックの現状は。 (2) 亀岡中ブロックの経過は。 (3) 別院中ブロックの経過は。	教育長 所管部長
20	浅田 晴彦 12月10日(木) 15:00~  ※一問一答	1 コウノトリについて	コウノトリ保護の環境整備について問う。 (1) 平の沢池に飛来してきているコウノトリを保護するために、亀岡市として協力できないか。 (2) 平の沢コウノトリを守る会(仮)が発足したが、今後、守る会と一緒に巣塔設置に向けた取組を考えてもらえないか。	市長 所管部長
		2 熱気球について	京都大学学生の熱気球活動について問う。 (1) 熱気球フライト活動を亀岡市とコラボしてイベントに参加できないか。 (2) 今年度の学校教育の一環事業として、熱気球を導入してはどうか。 (3) 亀岡市で熱気球大会を実施してはどうか。 (4) 熱気球体験飛行を企画してはどうか。	市長 所管部長
		3 小型家電リ	小型家電リサイクル回収について問う。	市長

		<p>サイクルについて</p> <p>4 川東地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) 小型家電リサイクル回収の取組の現状は。</p> <p>(2) 小型家電リサイクル回収ボックスに、不法投棄（小型家電）はないのか。</p> <p>(3) 今後、小型家電リサイクル回収施設の増設に向けた取組の予定は。</p> <p>川東地域のまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 旭町山階区の新公民館完成に合わせて消防団のポンプ格納庫及びホース干し台を早期に建てることはできないのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症流行の年になっている現在、七谷川野外活動センターの利用状況は。</p> <p>(3) 七谷川（和らぎの道・右岸）の整備を考えたとき、市民参加型の植樹等の景観整備を考えてはどうか。</p> <p>(4) 通学路・街路灯設置工事が進んでいるが、点灯開始の時期は。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
21	<p>小松 康之 12月10日(木) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 行政手続の印鑑廃止について</p> <p>2 ヤングケアラーの実態調査について</p> <p>3 シティプロモーションについて</p>	<p>政府は行政手続上の押印廃止を進めているが、今後の市民生活への影響について問う。</p> <p>(1) これまで行政手続の押印は、なぜ必要だったのか。</p> <p>(2) 手続上押印が不要になるものと必要なものの種類と数について問う。</p> <p>(3) 押印廃止で本人確認はどうなるのか。</p> <p>(4) 本人確認のデジタル化・厳格化とは何か。</p> <p>政府は家族の介護や世話をする18歳未満の子どもでもある、ヤングケアラーの実態調査を12月から全国で始める。</p> <p>(1) 本市では実態を把握しているのか。</p> <p>(2) 埼玉県の調査では、高校2年生で該当者が4.1%との結果が出た。2016年の大阪府の調査では、公立高校生の20人に1人が該当した。この割合をもとに、本市に当てはめるとどうなるのか。</p> <p>(3) 支援体制に取り組むべきと考えるが、これまでと今後の対策について問う。</p> <p>①相談できる環境整備づくりをどうするのか。</p> <p>②当事者の負担軽減施策をどう考えていくのか。</p> <p>先日、民間企業が「街の住みこち&amp;住みたい街ランキング2020」を発表した。交通便利性や生活利便性、治安、行政サービス、物価等の様々な指標をもとにランクをつけている。本来「シティプロモーション」と「住みこち・住みたい街」の向上は一体のものとするが、所見を問う。</p> <p>(1) 本市における「住みこち・住みたい街」の評価をどう捉えているのか。</p> <p>(2) 本市は他市との比較で「住みこち・住みたい街」の何が不十分なのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長公室シティプロモーション担当室長</p>

		<p>4 福祉行政について</p> <p>5 教育行政について</p>	<p>令和2年6月議会で質問した、言わば「かめおかシティプロモーション」推進体制について問う。</p> <p>(3) 市民や専門家を巻き込んだ体制づくりが必要だと考えるが、その構想はあるのか。また進んでいるのか。</p> <p>このほど亀岡市社会福祉協議会が地域包括支援センター（中部圏域）の業務を受諾した。また同協議会子育て支援センターが、ガレリアかめおかのこどものあそびばの運営を担うことになった。これまでも市社協は福祉全般にわたる様々な取組を行っているが、慢性的に必要な人員の確保や資金調達に苦慮しているように思われる。これらに対し、市の協力体制について問う。</p> <p>(1) 福祉業務の人手不足等に対し、さらに支援できないか。</p> <p>(2) 福祉分野は幅広く、市も様々な部署が担っているが市の縦割り行政が、市社協に負担をかけていないか。</p> <p>令和元年6月28日に「学校教育の情報化の推進に関する法律」が公布された。市町村は、学校教育情報化推進計画を基本として、その市町村の区域における学校教育の情報化の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めなければならないとある。</p> <p>(1) 本市はその計画を定めているのか。</p> <p>(2) その計画の基本方針、期間、目標の概要について問う。</p> <p>文部科学省は令和元年度に「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」を行った。本市の実態について下記の項目を問う。</p> <p>(3) 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数は。</p> <p>(4) 普通教室の無線LAN整備率は。</p> <p>(5) インターネット接続率は</p> <p>(6) 統合型校務支援システム整備率は。</p> <p>「令和2年度亀岡市教育委員会点検・評価報告書」について問う。</p> <p>(7) P29 目標4 安全・安心で充実した教育環境の整備について</p> <p>① 「目指す姿・目的」では学校図書の実充と時代に順応した教育用資機材の実充とある。また「実施事業の内容」では、教育の情報化に向けた学習資機材の実充とある。実態との乖離についての所見は。</p> <p>② 内部評価は「A」、外部評価も「A」であるが、外部評価の委員意見には評価の低いものも見受けられる。それを含め、教育用資機材が不十分な中、どのようにして「A」評価が付けられたのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
--	--	-------------------------------------	---	--